

授業案「住む部屋をえらんでみよう」

1 授業の目標

契約締結の前提となる「選ぶ」ということを論理的に考えることを身につける。

2 授業の構成

事前課題として、日弁連動画の「心がまえ編」と「実践編」を視聴してもらう。

授業時間は、合計50分を想定。

段階	学習活動	指導上の留意点・備考
導入 【10分】	○18歳成年により、18歳になると一人で契約を締結できるようになるが、契約を締結する前提として、契約の相手方や目的物を「選ぶ」ことが必要になること、その「選ぶ」という行為は、「目的」達成のために必要な「条件」を考え、その「条件」がより備わっているものを考えるということであることについて講師の説明を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> ・契約成立の前提として、契約締結の目的から、その目的をより達成しうる相手方や目的物を選ぶ必要があることに留意して説明する。 ・具体例として、売買契約や賃貸借契約などを提示する。
課題1：契約の目的から、契約の相手方や目的物に備わっていて欲しい条件を考えてみよう。		
グループワーク 【10分】	<ul style="list-style-type: none"> ○グループ内で、契約の当事者の設定から、契約締結の「目的」を考え、その目的のために備わっていて欲しい条件を考える。 ○グループで考えた条件について、優先順位を付ける。 	
課題2：課題1を参考に候補物件から「選んで」みよう。 課題3：この授業から学んだことをまとめてみよう。		
グループワーク 【15分】	<p>【課題2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループ内で、候補物件3つから、課題1で考えた「目的」と「条件」によりマッチする物件を考え、選ぶ。 ○なぜ、その物件を選んだのかについて理由を記載する。選ばなかった場合には、その理由を記載する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・候補物件からは選ばないという結論でもよいことを補足する。
発表・講評 【15分】	<ul style="list-style-type: none"> ○各グループから、選んだ物件と選んだ理由を発表する。 ○候補物件から選ばなかったグループは、その理由を発表する。 <p>【課題3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○今回の授業で学んだことをまとめる。 ・講評をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の「目的」が同じでも、その目的達成のために必要な条件の順位付けにより「選ぶ」ものが違うことも実感してもらう。 ・候補物件から選ばなかった場合、再度同じような手順で物件を探すことになることも説明する。 ・授業のまとめとして、この授業から学んだことを生徒にまとめてもらう。